

編輯室より

○本號は工事新知識號としました。毎號新知識ならざるはないと言ふ意氣込みで編輯はしてありますが、時に斯く改まつた内容も必要であります。

○それ故に本號は讀む記事が多く、工事寫眞版が少くなりました。

○本號は日本の地下鐵の工事の特輯する豫定でしたが都合により次號に譲りました。

○本號發表のペロセメントは日本に於ける最初の超高級セメントであります。充分に其特長を呑込んで盛んに利用せられん事を望みます。

○ホーリングの實際的研究家として日本の第一人者である日下部博士の記事は本誌の名譽とする處で、今後も我が工事畫報の爲めに實際研究を與へらるゝ豫定です。

○九大の吉田博士の鐵筋混凝土の研究は益々實際問題に觸れて來ます。先には混合材料投入の順序に就て水を先にすべき事を研究發表され、今又混凝土の沈下を研究發表された。

○此等學者の研究が實地工事に比較的早く實行されて行く事は最近の傾向として實に喜ぶべき事と思はれます。

○

○櫻花爛漫の候、山も海も讀者諸君の工事現場は如何に陽光にめぐまれてある事でせう。

○それは寫眞器を持出ずに最も良い時期です、スラップテストや、イナンデーター、其他混凝土工事の或部分的撮影が、本誌の懸賞寫眞應募に最も適してゐるでせう。

○

○横須賀の築成部へ、スチームバイルハレマー御問合せの件はハガキで御答へ致しました。尙ほ一般讀者からの工事材料機械等に對する御問合せは往復ハガキで御願ひします。

○

○三月號は發送間際に印刷所が火災にあつてさんざんでした、原稿の方は別狀なかつたのですが、印刷の方は全部再版しました。それが爲め發送が大變遅れました事を御わび致します。(發送係)

新刊紹介

鐵線籠工法 菊版 116 頁
定價 1 圓20 錢

杉村誠之介氏述

河川工事に於て最も難問題とする處は護岸水制である。我國では古來竹又は粗朶を以て作つた蛇籠を使用して之に當つて來だけれども、竹や粗朶は腐朽早く耐久力に乏しい。其處で之等の缺點を補ふべき材料として軌近鐵線籠が盛んに使用されて來た。

本書は鐵線籠工法と稱するが如く、先づ各種籠の概念を詳述し、之が實際の施工に重きを置き百十餘個の圖解及寫眞を挿入して、讀んで直ぐ現場に役立つやう極めて平易に其施工法を説いたものである。實地工事に携る技術者諸君に敢へて一讀をおすすめする。

土建 工事畫報 第六卷 第四號
木築 定價七十錢 (稅二錢)

毎月一回一日發行 一ヶ年十二册發行

購 讀 料
壹 部 七 十 錢 稅 二 錢
參 ヶ 月 貳 圓 稅 共
六 ヶ 月 四 圓 同
一 ヶ 年 八 圓 同
(外國ハ一部稅共七十八錢)

注 文 注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて振替東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便による

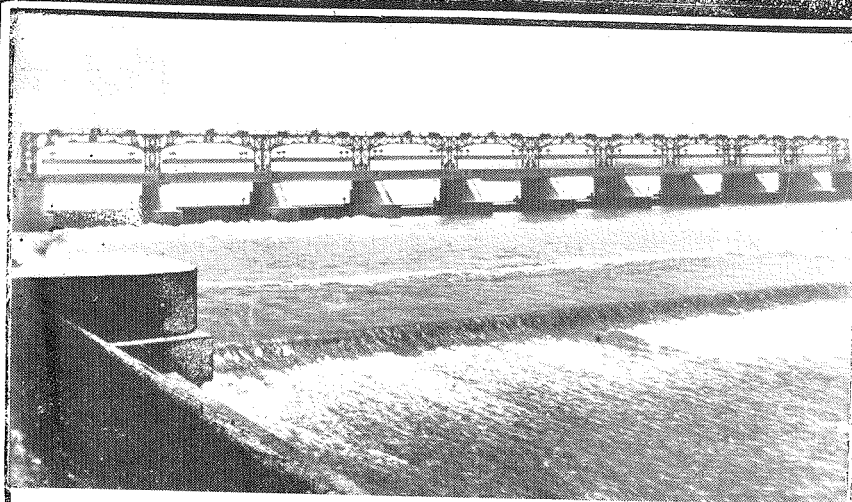
昭和五年三月廿六日印發納本
和昭五年四月 一 日發 行
編輯兼印刷發行人 岡 崎 保 吉
東京府北豐島郡長崎町三六二九
印刷所 共同印刷株式會社
東京市小石川區久堅町百八番地

發 所 行 工 事 畫 報 社
東京市麹町區丸ノ内三丁目六番地
電話丸ノ内二六三三番
振替東京七〇貳六五番
工事畫報社 廣 告 部 關 西 支 局
大 阪 市 北 區 高 垣 町 七 四
電 話 北 三 二 九 三 番

大賣捌所 東京堂・東海堂・大東館・北隆館

播

鐵



内務省 信濃川可動堰鋼扉並ニ其構脚橋 (弊所製作及架設)

磨

骨

營業種目

- 一、船舶新造修繕
- 一、諸機械汽罐製造販賣
- 一、橋梁、鐵骨建築工事
- 一、油槽水槽瓦斯槽工事
- 一、水壓鐵管送電鐵柱工事
- 一、土木工事

株式會社 **播磨造船所**

兵庫縣赤穂郡相生町
電話相生一四・一五・一六・二二

神戸事務所

神戸市仲町三六 興銀ビルディング
電話三宮 三四五〇

東京事務所

東京市・麴町區・丸ノ内東京海上ビルディング
電話丸ノ内 二二七

鐵防の鑄混・土凝の防水

■特性

乾燥 迅速 皮膜 強靱
 強靱 彈力に富む
 附着力 強大 耐久力 永続的
 防水力 絶對的 使用法 簡易

■抵抗力

酸 アルカリ 鹽 水 沼氣 アムモニア等に對し強大なる抵抗力を有す

■價格低廉 品質外來品を凌駕す

■應用範圍

(土木工事)

水力發電 護岸改修 堰堤 貯水池 橋梁 高架鐵道 地下鐵道 上下水道

(建築工事)

鐵骨の防錆 基礎 地下室 陸屋根 水槽 淨化槽等の防水 多年諸官廳 各都市 全國諸工場へ納入し 頗る好評を博せり 御要求次第説明書御送付す。

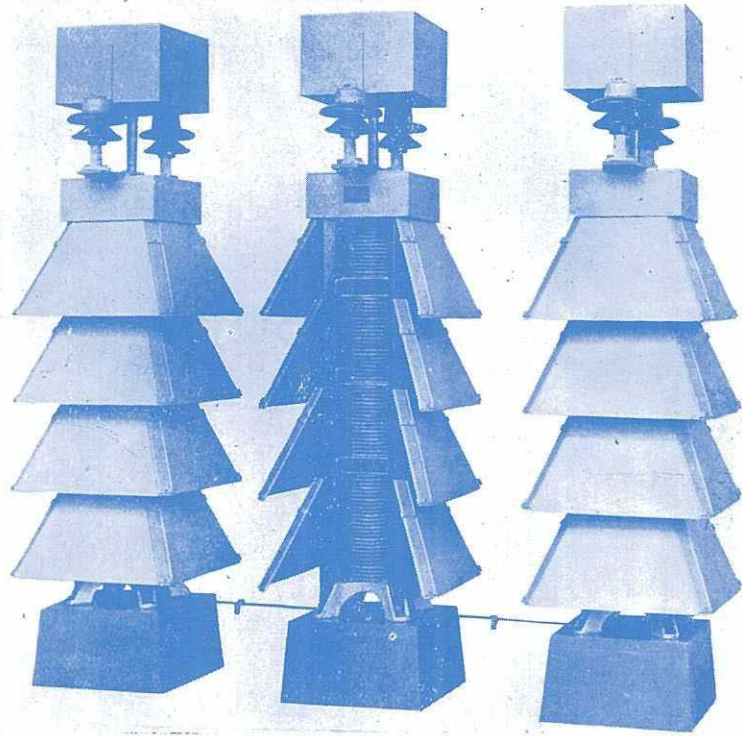
保護塗料

クロナイン

耐酸
 耐鹽
 耐アルカリ

東京市芝區高輪南三十五番地
 (電話高輪44番七三三)

吉田組



避雷器ノ放電中ニ内部ニ如何ナル現象ガ生

ズルカニ對スル智識ハ技術界ニテ永年求

メツツアル所ニテ其ノ一部ハCE社ノ

雷發生器ノ建造ニヨリテ解決シ得タ

リ更ニデユフオー氏ノ陰極線オ

ツシログラフヲ用ヒテ得タル實

際ノ記録ヨリシテオキサイド

ファイルム避雷器ノ優秀ナル

特性ヲ表示シ且證明スル

事ヲ得ルニ至レリ是等

ノ科學的方法ニヨ

リテCE社ハオ

キサイドフイ

ルム避雷器

ノ保護能

力ノ完全

ナルヲ

立證

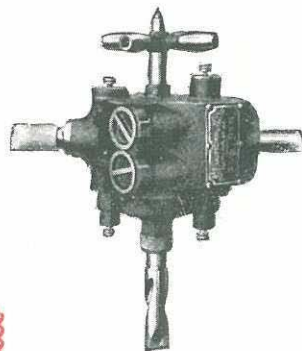
ス



GENERAL ELECTRIC

International General Electric Company. Tokyo—Osaka.

CLEVELAND FOUR PISTON AIR DRILLS



“克利夫ランド” 空気壓縮機の特長

1. エアー、ドリルの胴體は一ヶの鑄物よりなり。
 2. 一ヶのバルブにより4ヶのピストンを操作してエアーを一様にシリンダーに送る。
 3. 各ピストンはボールベヤリング装置を有し連桿に連結されてある。
 4. 他社製4ピストン、エアードリルに比して極く少数の部分品よりなる
 5. 逆にも聯動さす事を得。
- 優秀なる此エアー、ドリルは各種鐵工場建築工事用として完全理想的のものなり。

乞
御
照
會

Cleveland Pneumatic Tool Company

東洋總代理店

株式會社 **アンドリュース商會**

支社 大阪市西區江戸堀通三丁目一八番地
本社 東京市芝區芝公園五號地二ノ五
名古屋・札幌・小倉・京城・大連・紐育

